



# 第 21 回国際ワンメータクラス全日本選手権 【帆走指示書】

## 1. 適用規則

本大会は、2013～2016 国際セーリング競技規則・付則 E（無線操縦による艇の競技規則）IOMクラスルール、レース公示及び帆走指示書を適用する。

## 2. 日程

7月20日(日)午前10時00分	現地集合 受付 計測 (9:00-10:30)
午前10時30分	開会式 競技開始
午後16時30分	初日競技終了
7月21日(月)午前 9時00分	二日目競技再開
午後13時00分	競技終了 表彰式

## 3. 競技者への通告

競技者への通告は、本部より口頭、或いは掲示板で通告する。

## 4. 組み分けとレース方式

- (1) ヒートは組み分け表（当日準備）により、4ヒートを一組とし、4ヒート中3ヒートに出場する。集計は全出場ヒートの得点を合計し、捨てレースの得点を削除後、順位を決定する。
- (2) 競技者は、受付時に組み分け表をくじ引きにて受け取り、組み分け表に従って出艇すること。出場しないヒートは、運営委員の指示に従いレースのワッチ(監視)にあたること。
- (3) 出艇は、ヒート前に次の出場者名をコールするが、自己責任で行うこと。出艇しない場合はDNSとして処理され、救済の対象とならない。

## 5. スタート信号とスタート

- (1) ヒートとヒートの間隔は、前ヒートの全出場艇フィニッシュ直後から7分後以後に3分前スタートCDを入れる。更に修理やセール交換などの時間が必要な場合は、スタート3分前までにレース委員に申請すること。
- (2) ルール適用は1分前とする。この時水面上でコントロールされていないヨットはスタート信号後に手元より押し出さずに放しスタートラインを通過しなければならない。

## 6. レースエリア及びコントロールエリア

当日スキッパーミーティング時に口頭、コースボードで通告する。

## 7. コース

- (1) レースコースは、別紙1のものとする。
- (2) 回航するマークは、スタートCDが入る前に、競技者に口頭とコースボードで通告する。その後スタートまでに変更はない。

## 8. 障害物及び浅瀬の区域

当日のスキッパーミーティング時に口頭で通告する。

## 9. レースの延期と中止

急激な天候の悪化や雷が近づいている場合など、人身や艇に危険な場合、レースを延期、中止することがある。 また、著しい無風や、著しい強風の場合、レースを延期、中止することがある。その場合、レース運営者が協議の上決定し、競技者に口頭で通告する。

## 10. 規則 44 に対するペナルティー

レース中に第 2 章の規則に違反したかもしれない艇は、インシデントの際にペナルティーを履行することが出来る。 その艇はケースの後できるだけ早く他の艇から十分離れた後、速やかに 1 回のタックと 1 回のジャイブを含む回転を行う。

## 11. フィニッシュ・タイムアウト

タイムアウトはトップ艇のフィニッシュ後 3 分とする。

## 12. 抗議

- (1) 抗議する場合、「\*\*プロテスト xx」 或いは「\*\*は xx を抗議」という言葉を **2 度** 確実にかけること。  
(\*\*は自艇のセールナンバー、xx は相手のナンバー)
- (2) 抗議を受けた艇は、インシデントの有無と、ペナルティーを履行の意思表示を行うこと。
- (3) 抗議を出す艇は当該ヒートの終了後 **3 分以内** に本部プロテスト委員に伝えなければならない。
- (4) 抗議が提出された場合、プロテスト委員はプロテスト委員会を召集し、抗議者、被抗議者双方の主張を聞き、必要に応じ証人やオブザーバーの話を聞き、速やかに採決をすること。

## 13. 救済

- (1) 救済の要求は艇の過失ではなく、次のいずれかの理由で順位が著しく悪くなったという主張または可能性に基づくものでなければならない。
  - a. レース委員会またはプロテスト委員会の不適切な処置または不手際
  - b. RRS 第 2 章の規則に違反した艇、または避ける必要があるレース中でない艇の行動により被った物理的損害またはからまりあるいは接地
  - c. 無線妨害または明らかに主催者の不手際による電波障害
- (2) 救済の要求はそのヒート終了後 **3 分以内** とし、本部プロテスト委員に伝えなければならない。
- (3) 抗議が提出された場合、プロテスト委員はプロテスト委員会を召集し、抗議者、被抗議者双方の主張を聞き、必要に応じ証人やオブザーバーの話を聞き、速やかに採決をすること。
- (4) 救済の得点は問題のレースを除き、前 2 レースの得点の平均とする。 前 2 レースが第 1 レースの場合は前 1 レース・後 1 レース、前レースがない場合は後 2 レースとする。
- (5) フィニッシュ間際など、順位が客観的に見て明らかな場合はプロテスト委員会の指示に従う。

## 14. 無線操縦不能の艇

ただちにセール番号と「操縦不能」をレース委員会に通知し、リタイヤしなければならない。レース委員会は通知を受けたら口頭で各選手に、セール番号で障害物艇を通告する。レース委員会は、レースの妨げにならないよう操縦不能の艇を回収する。

## 15. 得点

- (1) 低得点方式を採用する。  
1 位=1 点、2 位=2 点、3 位=3 点 以下順位と同じ得点とする。
- (2) DNF・RAF・DNS・DNC・DSQ・タイムアウトを記録した艇は、エントリー出艇数プラス 1 点を与えられる。
- (3) 捨てレースの数は下記により、高得点の合計を削除する。  
6 レース終了 1 レース、12 レース終了 2 レース、18 レース以上 3 レース

## 16. 大会の成立

大会の成立は第 4 レースの終了を持って成立とする。

## 17. マークとの接触

マークと接触した艇は、他艇を避け速やかに1回のタックと1回のジャイブを含む回転を行うこと。回転後、レース委員、或いはオブザーバーや他の競技者に履行したことを連絡すること。

## 18. その他の要件

- (1) 受付時に計測書の提示のない競技者は、第1レースをDNCとする。
- (2) 計測は、全艇競技前に総重量チェックを行う。準備できた艇より速やかに計量すること。
- (3) 競技者は、レース中の競技者に戦術的または戦略的助言を与えてはならない。コースの助言も含む。
- (4) レース中の競技者は外部の援助を受けてはならない。ただしRRS「座礁、マークまたは他艇との絡まり、水面に降ろす場所での援助」を除く。
- (5) レース中の無線操縦不能の艇の回収は、レース委員の指示を受けること。
- (6) 選手はスポーツマンシップ及びシーマンシップに則りレースをすること。
- (7) 本帆走指示書で規定されていない項目や発生した問題については、レース委員会に委ねるものとする。決定事項や指示は競技者に口頭で通告する。

### 参考

- DNC : スタートしなかった。(スタートエリアに来なかった)
- DNS : スタートしなかった。(DNCとOCS以外)
- OCS : スタートしなかった。(スタート・ラインのコースサイドにおいて規則29.1に違反した。)
- DNF : フィニッシュしなかった。
- RAF : フィニッシュ後にリタイアした。
- DSQ : 失格とされた。
- DNE : 規則88.3 (b) に基づく除外できない失格。
- RDG : 救済が与えられた。

<別紙 1> レースコースは2周とする。

### レースコース

